

いつも・いつまでも、みんなで支える上下水道 ～ 水道事業・下水道事業 経営戦略の概要 ～

水道事業・下水道事業の現状と課題

= 現 状 =

水道・下水道ともに普及率が99%を超え、普及向上による増収が望めない中、人口減少や保有施設の老朽化が進行【事業構造の変化(未収益事業化)】

= 課 題 =

ヒト(職員・組織) 職員の技術(知識)継承 更なる業務の効率化	モノ(保有施設) 法定(標準)耐用年数を超過する 保有施設が今後更に増え 多額の更新費用が必要	カネ(収支構造) 現在の料金・使用料水準では 令和22(2040)年度には 水道・下水道ともに 年2億円程度の減収
--	---	--

経営上の戦略(10年後に向けて)

水道事業 累積資金を一定程度残しつつ 「取水—浄水—重要水道管路」の耐震化を更に進め 耐震化・老朽化対策と経営の両立を図る	下水道事業 累積資金を一定程度残しつつ 必要となる施設の改築・更新を着実に 効率的な老朽化対策と経営の両立を図る
---	--

基本理念・経営の基本方針の実現(目指す10年後の姿)

●● 基本理念 ●●

いつも・いつまでも、みんなで支える上下水道

●● 経営の基本方針 ●●

① サービス提供の持続 ○ 効率的な老朽化対策(建設改良工事の「選択と集中」)の実施 ○ 維持管理手法のたゆまぬ改善 ○ 組織としての技術(知識)力の確保 ○ 累積資金のある現計画期間内において、料金・使用料水準について議論	② 安全・安心の確保 ○ 地震・災害に強い上下水道の実現 【水】「取水—浄水—重要水道管路」の耐震化の推進 【下】10年確率降雨の雨水管整備の継続 ○ 災害からの早期復旧が可能な、回復力の高い施設整備と組織体制の強化 ○ 【水】水質管理の徹底 ○ 【下】公共用水域の水質保全
---	--

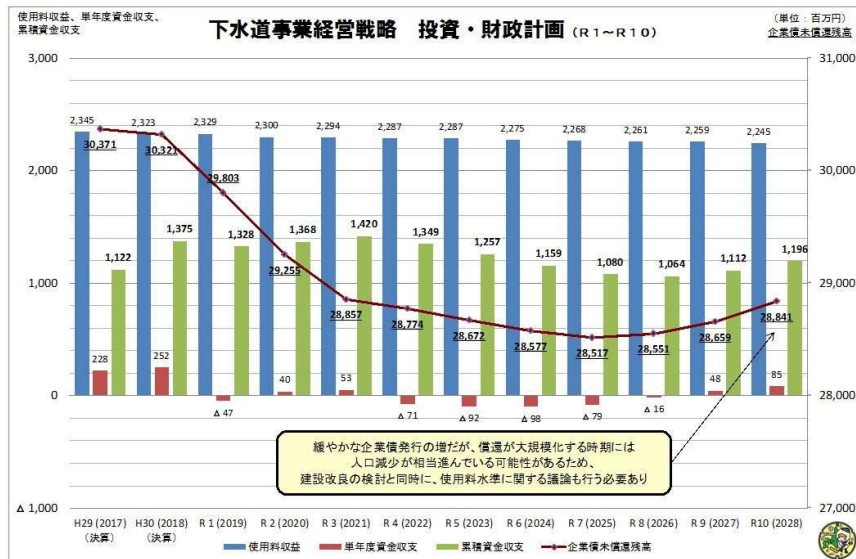
「拡張・拡大」の時代から
 「再構築・マネジメント」の時代へ

投資・財政計画(10年間の収支見通し)



【水道】
 進捗把握のための
 3つの管理指標
 (評価項目)

- ① 経常収支比率
100%以上を基本とします
- ② 累積資金
料金収益
3か月分以上の維持を目指します
- ③ 耐震化率
浄水場管轄施設の耐震化率
100%を実現し、重要水道管路の耐震化を進めます



【下水道】
 進捗把握のための
 3つの管理指標
 (評価項目)

- ① 経常収支比率
100%以上を基本とします
- ② 累積資金
使用料収益
3か月分以上の維持を目指します
- ③ 老朽化対策
ストックマネジメント計画
対象施設の100%改築・更新を目指します

＝ (参考) 投資・財政計画の前提条件 ＝

【水道事業】

	収 益	費 用
収 益 的 収 支	【財源】 ① 料金収益 (給水収益) 水需要予測による各年度の有収水量に、過去 10 年の供給単価の最安値 (157.58 円、H24(2012)実績) を乗じる ② 長期前受金戻入 既存の施設に係る長期前受金戻入に、新たな投資に係る長期前受金戻入を上乗せ ③ その他の収益的収入 過去 3 年 (H27-H29(2015-2017)) 平均	【投資以外の経費】 ① 企業債支払利息 元利均等・償還期間 25 年の借入とし、年利は 1.0% (R 元-R 5 (2019-2023))・1.5% (R 6-R10(2024-2028)) で推計 ② 減価償却費 既存の施設に係る減価償却費に、新たな投資に係る減価償却費を上乗せ ③ 退職給付引当金 市長部局との人事異動により勤続年数が一定に保たれるものとし、H26(2014)以降の取崩額平均値を毎年度計上 ④ その他の収益的費用 過去 3 年 (H27-H29(2015-2017)) 平均、ただし修繕費・委託料は毎年度 2%ずつ増で計上
	【財源】 ① 国道補助金 老朽管更新で 1 億円/年程度 (-R 2 (2020))、緊急貯水槽で 5,000 万円/年 程度 (-R 5 (2023)) を見込む ② 工事負担金 柏原地区の一部の給水区域編入に伴い、総額 1.9 億円程度の負担金収益を見込む (R 3-R 5 (2021-2023)) ③ その他 右欄 (資本的支出) ①に係る財源のうち上記以外のものについて、全て企業債	【投資】 ① ②以外の建設改良工事 苫小牧市新水道ビジョン実施計画に掲載された事業費 (年平均 13 億円) ※ R10(2028)は、9 億円に設定 ② 量水器施設費 現在の量水器の布設状況を元に計上 ③ 企業債 (償還元金) 既存の企業債未償還元金の返済計画に、元利均等・償還期間 25 年で借り入れる企業債の償還元金を上乗せ
資 本 的 収 支		

【下水道事業】

	収 益	費 用
収 益 的 収 支	【財源】 ① 使用料収益 水需要予測による各年度の有収水量に、H29(2017)使用料単価 (149.33 円) を乗じる ② 雨水処理負担金 収益的支出の各費目に対し、過去 3 年の予算編成 (H28-H30(2016-2018)) で使用した雨水比率の平均値を乗じる ③ 長期前受金戻入 既存の施設に係る長期前受金戻入に、新たな投資に係る長期前受金戻入を上乗せ ④ その他の収益的収入 過去 3 年 (H27-H29(2015-2017)) 平均	【投資以外の経費】 ① 企業債支払利息 元利均等・据置 5 年・償還期間 25 年の借入とし、年利 1.0% (R 元-R 5 (2019-2023))・1.5% (R 6-R10(2024-2028)) で推計 ② 減価償却費 既存の施設に係る減価償却費に、新たな投資に係る減価償却費を上乗せ ③ 退職給付引当金 市長部局との人事異動により勤続年数が一定に保たれるものとし、H26(2014)以降の取崩額平均値を毎年度計上 ④ その他の収益的費用 過去 3 年 (H27-H29(2015-2017)) 平均、ただし修繕費・委託料は毎年度 2%ずつ増で計上
	【財源】 ① 国道補助金 R 元(2019)は予算額、R 2・R 3 (2020・2021)は 5.4 億円/年を、R 4 (2022)以降は 5 億円/年を見込む ② 他会計補助金 特別措置債の発行状況に応じた額を計上 ③ その他 R 6 (2024)まで受益者負担金の調定を見込み、その他は全て企業債	【投資】 ① R 3 (2021)までの建設改良工事 R 元(2019)は予算額、R 2・R 3 (2020・2021)は 18.7 億円/年程度を見込む ② R 4 (2022)以降の建設改良工事 24 億円/年を見込み、その内訳を管渠 15 億円・処理施設等 7 億円・その他 2 億円 (建物又は管渠) とする ③ 企業債 (償還元金) 既存の企業債未償還元金の返済計画に、元利均等・据置 5 年・償還期間 25 年で借り入れる企業債の償還元金を上乗せ
資 本 的 収 支		